



2022年11月11日

各 位

会社名 青山商事株式会社
 代表者名 代表取締役社長 青山 理
 (コード番号 8219 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役兼常務執行役員
 グループ経営本部長 山根 康一
 兼 総合企画部長
 (TEL 084-920-0050)

2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異、 通期業績予想及び配当予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ

当社は、2022年5月13日に公表いたしました、2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

あわせて、通期業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおり修正するとともに、本日開催の取締役会において、剰余金の配当(中間配当)について決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値との差異について

- (1) 2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異
 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	74,000	△4,600	△4,500	△5,500	△110円39銭
実績値(B)	76,804	△1,877	△438	△2,451	△49円20銭
増減額(B-A)	2,804	2,722	4,061	3,048	—
増減率(%)	3.8	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	67,131	△7,059	△6,224	△7,586	△152円34銭

- (2) 2023年3月期第2四半期(累計)個別業績予想値と実績値との差異
 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	44,400	△5,700	△5,600	△5,800	△116円42銭
実績値(B)	47,169	△3,203	△1,654	△2,755	△55円29銭
増減額(B-A)	2,769	2,496	3,945	3,044	—
増減率(%)	6.2	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	40,041	△7,635	△6,548	△7,059	△141円75銭

2. 業績予想の修正について

(1) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	184,500	5,900	6,200	2,400	48円17銭
今回修正予想(B)	188,300	7,300	9,000	3,600	72円23銭
増減額(B-A)	3,800	1,400	2,800	1,200	—
増減率(%)	2.1	23.7	45.2	50.0	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	165,961	2,181	5,150	1,350	27円12銭

(2) 2023年3月期通期個別業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	123,700	2,900	3,400	1,400	28円10銭
今回修正予想(B)	125,600	3,900	5,800	2,100	42円13銭
増減額(B-A)	1,900	1,000	2,400	700	—
増減率(%)	1.5	34.5	70.6	50.0	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	111,680	361	3,088	1,868	37円51銭

3. 業績予想値と実績値との差異及び業績予想の修正の理由

<個別>

第2四半期累計期間において、売上高が前回発表予想を上回ったこと、あわせて、店舗閉店に係る減損損失を特別損失に計上したものの、為替差益を営業外収益に計上したことなどから、各段階利益についても前回発表予想を上回りました。

下期につきましては、売上高は既存店売上高前期比前提を112%と前回発表予想通りと想定するものの、店舗閉店の影響などにより前回発表予想を若干下回る見込みであります。あわせて、販売費及び一般管理費の増加を見込むことなどから、各段階利益についても前回発表予想を下回る見込みですが、通期につきましては、上期実績が前回発表予想を上回ったことから、売上高、各段階利益ともに前回発表予想を上回る見込みであります。

なお、既存店売上高前期比は、上期実績122.6%、下期の前提は112%、通期116%であります。
(前回発表予想前提：上期115%、下期112%、通期113%)

<連結>

主に、上記<個別>の理由により、第2四半期累計期間実績値は前回発表予想を上回り、通期についても前回発表予想を上回る見込みであります。

4. 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年5月13日公表)	前期実績 (2022年3月期)
基準日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり配当金	0円00銭	0円00銭	0円00銭
配当金総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

5. 期末配当予想の修正

(1) 修正の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想（2022年5月13日公表）	14円00銭	14円00銭	14円00銭
今回修正予想	14円00銭	21円00銭	21円00銭
当期実績	0円00銭	8円00銭	8円00銭
前期実績（2022年3月期）	0円00銭	8円00銭	8円00銭

(2) 理由

当社では、配当金を最優先として株主還元を行うことを基本とし、中期経営計画ごとに設定する方針に基づいた株主還元を行ってまいります。

本中期経営計画期間である2022年3月期から2024年3月期における株主還元につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による業績悪化によりダメージを受けた自己資本改善のため、内部留保を優先し、総還元性向30%を目安としております。

上記株主還元方針に基づき、「2. 業績予想の修正について」に記載の2023年3月期通期業績見通しを踏まえ、期末配当予想につきましては、前回予想の14円から21円に修正いたします。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上